

教育力向上ワーキンググループ 会議録

1 日 時	平成26年10月14日(火) 15:00～16:00
2 場 所	新居浜市役所3階 33会議室
3 出 席 者	<p>浦江賢治座長、一色明繁委員、今西光昭委員、森直子委員、渡邊誠一委員、橋川隆至委員、伊藤久門委員、中山瑞枝委員、國司恵美子委員</p> <p>木村和則委員(事務局長兼教育力向上戦略監)、眞鍋育朗委員(総括次長兼社会教育課長)、横井敏行委員(教育委員会事務局次長)、尾崎洋子委員(子育て支援課主幹)、篠原絵里委員(総合政策課主任)</p>
4 傍 聴 者	1名
浦江座長	<p>みなさん。こんにちは。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。今日は第4回の会まででお話いただいた内容について、事務局の方でまとめていただいておりますので、その提言の案を基にした話し合い、御意見を伺えたらと思いますので、よろしく願いいたします。2名の委員さん来られてないんですけども、会の方、定刻来ましたんで進めさせていただきたいと思います。よろしく願いします。</p> <p>最初に木村委員さんの方から御説明いただけたらと思います。</p>
木村委員	<p>お手元にお配りしております教育力向上ワーキンググループ提言書の案ということで作成させていただきました。今座長の方からお話もありましたように1回目、2回目がテーマ等を決めるという自由な御発言、御意見をいただいて1回目、2回目のある程度項目でまとめたものについて3回目、4回目にお話をさせていただきました。その4回の御意見を当初お話ししましたように三つの学校、家庭、地域とそれらの連携という、項目としては大きく四つの柱に分類分けさせていただきましてまとめております。また、まとめ方につきまして具体的な事業として挙げているものもありますが、皆さんの御意見の中には、なかなか一つの事業として中にまとめづらいものについては、各項目の最初にコメントと言いますか、意見を入れてるものの中に読み取れるような形で文言を入れさせていただきました。例えば、2ページ目の地域の教育力の向上の文言の最後に御意見の中に、大学等高等教育機関というものがあつた方がいいよねという御意見があつたと思いますが、それを高等教育機関の充実が望まれるというような表現で中に盛り込むとかいうことで全体、言葉による盛り込み方と事業そのものを入れていくということでまとめておりますのでご覧いただけたらと思います。</p>

浦江座長	はい。ありがとうございます。今まで皆さんで出し合っていたいただいた御意見に基づく提言書の案という形で事務局の方でまとめていただいております。この内容について、まず見ていただいて、ここはやはりということがありましたら、その後で御意見いただけたらと思います。今から10分程度時間を取りたいと思いますので、この提言書の案をお読みにいただいて、そこでまた御自分の考え等がございましたら10分の間に考えをまとめていただけたらと思います。よろしく申し上げます。
浦江座長	一応、お目通しいたいて過去我々が話し合った内容について確認していただけたんじゃないかとは思いますが。今日については、提言の内容についての確認になりますので、そういった観点からまずは質問あるいは御意見を申し上げます。まず質問があれば、質問いただけたらと思うんですけども、いかがですか。この提言案の内容について。
一色委員	英語合宿という言葉が出てきてますが、これはどこから出てきたんですか。それが一点目。それから学校図書館支援センターという新しい名前が出てきたんですが、これについて説明をお願いします。
浦江委員	他に御質問はありませんか。今、英語合宿と図書館支援センターの2点の質問があったんですけども。
今西委員	4番目のところなんですけど、見守り活動とか公民館別にやっておるんですけども、そういう活動しても全国的には事件事故が後を絶たないと書いておるんですけども、しかし、これはやはり我々が取り組みだしてもう10年近くなるんですけども、それは確かに効果はあると思うんです。だから後を絶たないじゃ書き方がちょっと悪い。これじゃ見守り活動が衰退しかねない。見守り活動があることによって、こういう不審者とかが明らかに減っておるっていうのは市から聞いております。
浦江座長	御質問より御意見として、この後を絶たないという表現ではなくて、効果は上がってる。ただ、まだやっぱり心配な面があるんで更にあいさつ運動等を絡めながら充実した活動を続けていくような、そういう表現にということですね。他に御質問はございませんか。
一色委員	4番目のところで放課後児童クラブの充実は分かります。学校との連携による運営というのがありますが、連携というのはどういう意味なんでしょうか。放

<p>浦江座長</p>	<p>課後児童クラブは学校教育とは全然違うと思うんですが。</p> <p>ありがとうございます。他に御質問ございませんか。また御意見いただくときに新たに御質問というのがございましたらお聞きしたいと思いますので、今質問としては3点、先ほどの見守り活動については、まあ表現をプラス方向の表現に変えていくことで意欲化につなげていくという御意見でした。質問としては1点目が英語合宿、2点目が図書館支援センター、この2点については、この言葉自体が今まで話し合った中では出てなかったのではなかろうかという御質問でした。3点目の質問として放課後児童クラブの学校との連携というのは、例えばどういう連携というのが考えられるかという御質問のその3点について事務局及び木村委員の方からお願いします。</p>
<p>木村委員</p>	<p>まず1点目。確かな学力の向上という中の、英語合宿という言葉が新しく出てくるという御意見なんですが、まず確かな学力、皆さんの御意見の中に底辺の底上げというものもあるけれども、上のクラスの子のもっと上に伸ばすことも必要だよというような御意見があったかと思います。新居浜市では既にもう算数・数学についてであるとか、理科等の科学というものでいろんな施策を進めておりますが現在英語というものが何もないというのもありまして、英語もあるよねということで、英語合宿というのは、具体策として例として挙げたもので、特に皆さんの御意見の中でこの言葉があったわけではないんですが、これから事務局として進めるに当たって、こんなことができないかという言葉なんです。</p>
<p>一色委員</p>	<p>小中ですか。</p>
<p>木村委員</p>	<p>小学校というのは、まだ難しいとは思ってます。具体的にはもうちょっと先にはなると思うんですが、英語というものを伸ばすのにあたっては、授業を増やすとかいうことよりも、生活の中に英語を取り入れていく形が何かできないかなというイメージは持ってますので、小学校はまだ先になるかと、中学校については十分授業でもやられてますので、その中で英語のできる子を、もう一つ段階を上を伸ばす形というものが何かできないかと言葉を入れさせていただいた。</p> <p>二つ目が学校図書館の充実の中の学校図書館支援センター、御意見の中に現在6名いる図書館支援員というものを増員して学校図書館を活用したらという御意見がありましたので、役所的に体系をもっと充実するもの考えたときに支援センターという建物があるわけではないんですが、そういうものを打ち出</p>

	<p>すことによってもう一つ学校図書館の活用が外に対してインパクトのある打ち出し方ができると思ってます。最初は増員だけを書いていたんですが。放課後児童クラブの学校との連携による運営についてですが、確かに現在の放課後児童クラブは新居浜の場合1年生から3年生が対象で国の制度から言うと厚生労働省になっております。学校自身は文部科学省で違う省庁となっているんですが、今ちょうど子育て三法を国が改正してその垣根を取っ払おうとしています。そういう中で国から出てきているのを見ますと、放課後児童クラブと放課後こども教室と後、学校の土曜日というものを、もっと広げていくというものを国が打ち出してきてますんで、それにも対応できるような形で、ここに学校との連携というものを入れさせていただきました。直接今の児童クラブをすぐ学校の運営の中に入れるていうのはちょっと難しいかとは思いますが、子育て三法からすると同じ中へ組み込まれてくるのかなとは思ってます。</p>
浦江座長	<p>という先を見てのことらしいですがいかがですか。</p>
浦江座長	<p>先ほど御質問に対する今の説明がございましたが、そこに対して何かございませんでしょうか。私も英語だけで生活する英語合宿を実施し生きた英語の習得を目指す。というのは他のとこと比べここ割と具体的に出てきているなという感じがいたしましたんで、表現をもう少し変えていただいた方が例えば、英語を使った体験活動を実施することにより、英語のコミュニケーション能力の育成を目指すとかそういうような表現が、合宿という言葉を使ったらやっぱり何日間かの合宿という、これは提言を受けて具体化していく段階で、考えていただけたらと思います。</p> <p>図書館支援センターについては、図書館支援センターを設置し図書館支援員の増員を図る。核になるものは何か必要かなってというのは私も感じております。非常に図書館についての御意見、エアコンのことから始まっていろいろ御意見活発にいただきましたけども、やはり核になるものが無いと充実しにくいなと私自身も感じておりますんで。</p> <p>先ほどの放課後児童クラブの充実、学校との連携については、学校だけではないですよという、この三者、学校、家庭、地域と考えたときには、学校も含めた三者での協力連携のもとで放課後の子どもたちの過ごし方を見守っていこう、つながっていこうということではいかがでしょうか、という意見だったと思うんですけども、御質問の内容については、そういったことでよろしいでしょうか。</p> <p>ほかに御質問が特になければ御意見の方をお伺いしたいと思います。先ほどの</p>

	<p>質問に返っても、もちろん結構ですんで全般について何かございましたらお願いします。市の政策懇談会の中での提言になりますんで、あまり具体的な提言というのはできません。先ほど木村委員さんにお聞きしたんですけども、この提言案が通って実際に提言をさせていただく。市の政策懇談会で市長さんの方に提言を提案させていただいて、それについて今度具体的なものについては、また学校教育課、社会教育課等の教育委員会等で具体化して取り組んでいく。私この中でちょっと具体的にあいさつ通りというのが非常に気になってまして質問したんですけども、これは木村委員さんの方でもあいさつ通りほんとに大事だと、これは地域、特に公民館や学校や、あるいはその地域の自治会等、またそのあいさつ通り、このあいさつ運動の拡充というのが、このまま入っていけば、それを具体化するとき、そのあいさつ通りについては意見等を深めていきたいというようなことを先ほどちょっと教えていただきました。そういったここに書かれている内容の具体的なことについては、また次の段階ということになりますんで、ここでは提言の内容の案を検討していくという立場で御質問、御意見をいただけたらと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>どなたからでもどういう項目からでも結構ですんで御意見ございましたら。</p> <p>まず、「はじめに」のところの文章の中でちっと引かかるんです。答えの無い問題を解決していく力という形であるんですけど、答えの無いというのが非常に引かってですね。答えの無い問題はないと思わしてですね。より多様化とかより複雑化していく問題を解決していく力というのが適切な表現なのかなというのが一つあります。</p> <p>それから1番の学校の教育力の向上のところでは確かな学力の向上というのが二つ目のカラムにあるかと思うんですけど、その後、教育研究所において学力向上に向けた検討が行われていることから更なる推進に向けてとあるんですが、ここには全体の底上げと個々の能力の向上という意味が文言として何か入らないのかなあという気がします。教育環境の向上というのがあるんですが、そこに予算が具体的に書いてあったりしてるんですが、ただ使うんじゃないでそれをチェックする機能を持たせるということも何か一つ必要かな。ただ単に導入するだけじゃなくて、その効果の確認というところをする手段ですね。そういうものがあって然るべきかなという気がします。それから、後2番目の家庭の教育力向上のところでは文言としてちょっと訂正をやっていただきたいなあ。家庭の教育力の低下というのがあるんですけど、ほんとに低下なのかなというのがあるって、その辺が時間的なことなのか、そういう意味合いもあるんじゃないのかなということで、いつと比較しての低下なのかというのが分かりませんが、低下という言葉が引かかるかなというのがありました。</p>
--	---

橋川委員

浦江座長	ありがとうございます。今に関連して若しくは他でもよろしいですけども御意見ございましたら。
今西委員	学校への防犯カメラの設置というのは設置してほしいという話があったんですか。
木村委員	子どもたちの安全という中で防犯カメラの設置があったと思います。
森委員	私が発言したと思うんですけど学校じゃなくて、むしろ公園とか公共施設で学校にということではなかった。その後に学校には付いていますかねというような話になって、有るところもありますねという流れで終わったと思うんですけど、学校ばかり付くのも、できたら施設、公園とか、そういう施設へ設置してほしいです。
浦江座長	先ほどの御意見、まず橋川委員さんの方からいただいた表現として答えの無い問題という、答えが無いではなくて、ここの表現は多様化、複雑化している中での問題という多様化、複雑化で対応できるような言葉ですよ。そういう表現に直した方がというのが今御意見として出てきたんですけども、私は大変素晴らしいと私は思うんですがいかがでしょうか。これまたちょっと表現を変えていただくというのが一つです。 1番の学校の教育力の向上の前段階の説明の文の中の3行目、教育研究所という文のところがあるんですけども、ここで全体の子どもたちの底上げで学力の向上、全体を見回した底上げについての表現として書き加えていく必要があるという御意見でしたけども、この御意見について何かございますか。
渡邊委員	底上げと個々の更なる向上と、上をもっと上げるということですね。
浦江座長	以上のような内容をここに盛り込むということでよろしいですね。 次に効果の確認につきましては、教育環境の向上だけではないですよ。例えば確かな学力の向上で実施しているもの、図書館教育の充実において、全ての面でやはり効果の確認をしていくための手立てとといいますか、組織とといいますか、そういったものをここに程度明記していく必要があるということですね。
橋川委員	ここに具体的にお金とか書いていたもんですから、ちゃんと適正に使われてい

	<p>るかを確認するのは必要かなと思ったもので、確かに全体でおっしゃるとおり必要だと思います。</p>
浦江座長	<p>効果の確認というのはちょっと文言として入れるのが難しいですね。</p>
橋川委員	<p>お金ありきで設備導入ということではないんじゃないのかな。というところをきっちりしていただきたいという思いがあって、そういうことを先ほど述べたんですが。</p>
浦江座長	<p>こういったことが、こういう方法でしたいから、そのためにお金を使っていく。そしたら、そのしたいことの、こういう方法でしたとき、にどういふ子どもの育ちが見られたか。というようなことの検証は必ず大事ですよという御意見ですよ。</p>
渡邊委員	<p>教育環境の向上のところに、確かな検証の実施、成果の実施みたいなやつを入れとけばいいのかなとは思うんですけども。</p>
浦江座長	<p>という御意見がございますがいかがでしょうか。</p>
一色委員	<p>金額は入れる必要あるんですかね。のけた方がすっきりするじゃないんですか。</p>
木村委員	<p>全体からするとここだけちょっと具体的過ぎる感じがしますね。</p>
浦江座長	<p>金額はいりませんよね。これはのけていただくということで。例の小学校、中学校の施設環境整備事業のところはのけて、中長期のところは当然必要ですよ。教育環境の向上に入るのかあるいは全体三つを受けてに入るのか。やはり検証ということの内容を入れてということ。</p>
木村委員	<p>橋川委員さんの言われる検証という意味ではほかの事業、どんな事業でも必要なことなんで、「おわりに」というところで、検証を行いながら新たな施策を進めていくというようにまとめさせていただいたと思います。</p>
浦江座長	<p>そういうのでよろしいでしょうか。表現としてはそちらの方がいいと思いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>2番の家庭教育の向上のところの1行目、家庭教育の低下というのは表現とし</p>

	<p>ていかがなものかという御意見がございました。これについてはまた検討していただきたいと思います。</p> <p>後、意見としては、防犯カメラの設置については公園、学校と公園が先でしたね。公園、学校等への防犯カメラの設置。という形でしていただいてもよろしいですね。お願いします。</p>
渡邊委員	<p>2番の家庭の教育向上のところがいいんですけど保護者の参加が少ないってのが言われてるんですけども、できれば学校や公民館の事業に参加を促すような活動も何か文言が入れればなあ。入れれないかなとは思んですけど、まあ保護者さんもしょっちゅう顔出してくださいよ。みたいなことがほしいなとは思んですけど、顔を出すことによって現場が分かるので。</p>
浦江座長	<p>という御意見をいただいたんですがいかがでしょう。</p>
木村委員	<p>全体の中の文章の中に入れます。</p>
渡邊委員	<p>積極的にいろんなところに参加してくださいねという。</p>
浦江座長	<p>今の4行あるところに盛り込んでいくという。3番にも関連はしますけども。</p>
渡邊委員	<p>地域だけではないので。学校も地域も参加していただくみたいな形が欲しいのは欲しんですけども。</p>
浦江座長	<p>公民館活動を通しての家庭の教育力向上に向けた取組というのは3番のところでは、はっきり明記されてますよね。後、渡邊委員さんがおっしゃるのには特に学校というのが限定的にというのがありますよね。</p>
渡邊委員	<p>どこか地域の中に学校現場も含め参加できるような仕組みがのところに入れていただいても。</p>
浦江座長	<p>そうですね。学校はいろいろ学校としてなかなか参加者を増やせないというのがあり頑張っていきたいと思えます。学校という言葉を入れていただくということで対応をお願いいたします。他に御意見ございませんか。特にない状況でしたら今のものを変えていただいた、検討していただいたことで変更していただけたらと思えます。家庭の教育力の低下という言葉に替わるもの、あるいはここの表現を内容から変えていくというのもございますけども、どういう表現</p>

伊藤委員	<p>にしたらよろしいですかね。</p> <p>文言に関してちょっとこれあげ足を取っていくようで非常に恐縮なんですけども、低下というところと3行目のところの家庭の教育力向上は一朝一夕には難しいということと低下するということっていうのは、まあ図らずも同意語のような同義のような意味合いがあらうかと思うんですよ。その辺りの整合性も踏まえた上で文言は作っていかないといけないのかなと改めて読み返して今思ったんですけど。</p>
浦江座長	<p>ありがとうございます。これしかしここである程度詰めますか。上がるとか下がるとか上下の問題じゃなくて多様化する問題に対応していくっていった感じの方が無難なんじゃないんですか。</p>
浦江座長	<p>具体的にここでというよりも事務局の方でお願いしたらと思います。ありがとうございます。内容あるいは表現について御意見いただきました。もう特になければ、この御意見を基に作り直したもので提言させていただけたらと思います。</p>
渡邊委員	<p>学校図書館支援センターは等とか部とか課とかいう形でセンターというよりもなんかもうちょっと幅広い言い方で替えた方がいいのかな。</p>
浦江座長	<p>ですよ。核になるものが何かいるという表現でちょっとはつきり名称というよりもですね。</p>
木村委員	<p>学校図書館の支援の組織の充実を図るとともに図書館支援員の増員を図る。</p>
浦江座長	<p>そうですね。ありがとうございます。他にございませんか。</p> <p>そしたら提言書の内容について今いろいろ話し合っていたいたんですが、これ事務局の方で今のを基にして作り直していただいたものを検討するというのもう一回会を開くのか、あるいは事務局と例えば私の方にお任せいただくか、いかがですか。またお集まりいただいた方がよろしいですか。内容、今の基にしたらそんなにはと思うんですけども。よろしければ事務局と私の方で最終的にまとめさせていただいて、その内容を市の政策懇談会の方に提案させていただくということでさせていただけたらと思うんですがよろしいですね。はい。それはそれでさせていただけたらと思います。</p> <p>他に全体いろんな御意見出していただいたんですが全体を通じて何か。</p>

浦江座長	ほんと忙しい中で貴重な御意見たくさんいただきましたけども特にというのがございましたらお願いします。
今西委員	学校と地域との連携と書いているんですけど家庭いうのを入れたらどうなんですか。連携というのは、学校・家庭・地域の連携がないとコミュニティカレンダー作るにしても学校・家庭・地域が連携がないとできないと思う。
浦江座長	確かに家庭も含めてですね。何か事務局の方からございましたら。
木村委員	今後のスケジュールですけど、11月の中下旬の予定で政策懇談会が開かれて、各ワーキンググループの提言書を採択するという形で、その後、政策懇談会から市長の方へ提言する。それを受けまして教育力でしたら、主に教育員会が中心になりますが具体的施策として平成27年度の当初予算に反映できるものは予算要望していくという予算のシステムになっております。この提言書の中で具体策が来年から事務局として対応できるというようなものを要望して予算化していくというのが今後のスケジュールになります。単年度で終わらない事業もございますから、中長期的な方向性の提言もございますので、それについては今後できる方向で事務局の方もいろんな施策を考えていきたいと思っております。今後はそういうスケジュールになっております。
浦江座長	ありがとうございます。また、ぜひ我々が4回までいろいろ意見を出していただいた、そういう具体的なものも含んでいただいて、今後の行政活動に生かしていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。5回にわたって貴重な御意見お忙しい中集まっていたく中で、お出しいただきほんとありがとうございました。拙い進行で大変御迷惑をおかけしましたけども、今皆さんから御意見を基に今後子どもたちを取り巻く環境を、大人がどれだけの力が出せるかということを考えながら子どもたちのより良い育ちを見つめていける、見守っていけるといったことを願ってこの会を閉ざさしていただけたらと思います。本当にありがとうございました。